

現代心理学研究科学学位授与方針

■博士課程前期課程

博士課程前期課程を修了する者が身につけるべき知識、能力等を下記の通り定める。

各課程に2年(4学期)以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者は、これらの知識、能力等を身に付けていると認め、修士の学位を授与する。ただし、心理学専攻においては、特別進学生制度で進学した者については本課程に1年(2学期)以上在学すれば足りるものとする。

心理学専攻／修士(心理学)

1. 最先端の研究法を身につけ、実際に研究場面で運用できる能力。
2. 最先端の研究と成果についての幅広い心理学の知識。
3. 習得した技法や知識を自分の研究に活用できる能力。
4. 研究を論理的、多角的、客観的に捉えることができる能力。

臨床心理学専攻／修士(臨床心理学)

【臨床心理学の高度専門職業人を目指す者】

1. 臨床心理学の理論および実践への応用を学習し、心理学的な支援の専門家としての基本的な態度と技法。
2. 臨床心理学の優れた見識と能力を持ち、臨床心理士・公認心理師をはじめとする高度専門職業人として、教育・医療・福祉・産業・司法の領域で心理療法、心理学的な相談・助言・査定・情報提供・多職種連携などにおいて活躍できる能力。
3. 臨床心理学の研究法を習得し、社会的な意義を持つ研究を行える能力。

【臨床心理学研究の推進者を目指す者】

1. 臨床心理学の理論および臨床心理士・公認心理師による臨床心理学の実践への応用を学習し、臨床心理学の研究法を習得し、社会的な意義を持つ研究を行える能力。
2. 臨床心理学の分野において自立した研究者となるために博士課程後期課程に進学できる能力。

映像身体学専攻／修士(映像身体学)

1. 映像身体学の基礎理論とその研究方法を修得し、その専門的知見を深めながら、映像身体学の研究課題に対してそれらを適切に使える能力。
2. 映像身体学、ならびに映像と身体に関する諸学の幅広い知識。
3. 映像や舞台における専門家、または企業や行政機関、NGOやNPOなどで高度専門職業人として、あるいは、博士課程後期課程に進学して自立した研究者や制作実践者として、映像身体学を幅広く展開し、探究して活躍できる能力。
4. 研究を論理的、多角的、客観的に捉えることができる能力。

■博士課程後期課程

博士課程後期課程を修了する者が身につけるべき知識、能力等を下記の通り定める。

各課程に3年(6学期)以上在学して所定の単位を修得し、博士学位論文作成に関する所定の研究指導を受け、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。ただし、心理学専攻においては、優れた研究業績を上げ、所定の手続きをして認定を受けた者については本課程に1年(2学期)以上在学すれば足りるもの

心理学専攻／博士(心理学)

1. 企業や行政機関の研究所、シンクタンク、NGOやNPOなどにおいて活躍できる、心理学の分野の高度な専門性。
2. 大学その他の教育・研究機関で教育者・研究者として独立した研究を遂行できる能力、後進に適確な指導を行える能力。

臨床心理学専攻／博士(臨床心理学)

【臨床心理学の高度専門職業人を目指す者】

1. 臨床心理学の理論および実践への応用についての知識を踏まえ、臨床心理士・公認心理師をはじめとする高度専門職業人として、心理学的な支援の専門家の基本的な態度と技法を大学その他の教育機関で教育する能力。
2. 臨床心理学の分野の高度な専門性を活かして、医療・福祉・司法・教育・産業機関などで、臨床心理学的支援の専門家として活躍できる能力。
3. 臨床心理学の研究法を習得し、大学その他の研究機関において、臨床心理学的に社会的な意義を持つ研究が自律的に行える能力。

【臨床心理学の研究者を目指す者】

1. 臨床心理学の理論および臨床心理士・公認心理師による臨床心理学の実践への応用についての知識を踏まえた上で、臨床心理学の研究法を習得し、大学その他の研究機関において教育する能力。
2. 臨床心理学の研究法を習得し、大学その他の研究機関において、社会的な意義を持つ研究を自律的に行える能力。

映像身体学専攻／博士(映像身体学)

1. 最新の研究動向を踏まえ、専門領域の知見を深めながら高度に研究を展開して、隣接する学問領域と連携して幅広く活躍できる能力。
2. 映像身体学の高度な専門性を活かして主体的に論文を作成する能力。
3. 大学その他の教育・研究機関で自立した教育者・研究者として、社会的意義のある研究を遂行する能力。あるいは、企業や行政機関の研究所、シンクタンク、NGOやNPOなどで、高度な専門職業人として社会的意義のある活動を展開する能力。